

あぐい

第153号

平成24年5月1日発行

議会だより



英比小学校入学式

-  2P 主な議決内容
 -  6P 常任委員会レポート
 -  7P 一般質問
 -  18P グループ紹介「オカリーナ Agui」
- 編集後記
6月議会予定

平成24年第1回定例会

可決

阿久比町税条例の一部改正

反対討論

杉野 明議員

個人町民税均等割への加算は、非課税の人にも課税され不公平税制となる。税制の基
本は応能負担である。また、退職所得の分離課税における課税所得10%税額控除の廃止
は、退職者に対する増税である。年金が減額される中、これから年金生活に入る人への
増税はすべきでない。すでに優遇されている証券・株などの税制から見直すべき。

可決

阿久比町精神障害者医療費支給条例の一部改正

賛成討論

辻 忠男議員

精神障害者家族会（さざなみ会）の全議員への働きかけにより12月議会で請願が全議
員賛成により採択された。
3級の対応については、今後の課題となると思うが、10月から1級・2級の全疾患が
無料化することを歓迎するとともに、対象者に対し、周知・徹底していただくよう要望
する。

可決

阿久比町介護保険条例の一部改正

反対討論

辻 忠男議員

今年度から介護保険料が月額4400円（750円増）となり、過去最高額である。
財政調整基金からの繰入額を増やすなどを行い、値上げはやめるべきである。高齢者に
とって年金が下がり、介護保険料の負担増は、我慢の限度を超えている。高齢になっ
ても、本当に生きてよかったと思える町にしてゆくために。

可決

阿久比町立老人憩の家の管理に係る指定管理者の指定

賛成討論

辻 忠男議員

あくまでも町立の施設であり、管理者を指定しても、最終責任は町にあると考
える。指定管理者任せになりがちだが、役場の監査が必要である。決算書での確
認だけでなく、現場確認をすることを要望する。

可決

平成24年度阿久比町一般会計予算

反対討論

澤田 道孝議員

道路新設・物件移転補償費は、例年に比べると50%以上の大幅減となってい
る。しかし、植大地区の予算と施工箇所は他地区に比べ格段に多い。9ヶ所の内
4ヶ所が植大地区である。植大の一部工事はさほど必要性のない工事まで含まれ
ている。これは町長が植大地区を厚遇していることの表れであり、我田引水の予
算は認められない。

賛成討論

久保 秋男議員

災害に強いまちづくりを念頭に、本町の発展と住民福祉の向上に配慮し、前年
度より50%増となっている。町民負担の軽減を図るための、新規事業を多く取
り入れながら、第5次総合計画の第2年次として、まちの将来像である、「みど
りと共生する快適生活空間・あぐい」を目指すまちづくりを推進していくため、
積極的に予算編成がされている。町税をはじめ国県支出金及び地方債は適正なも
のであり、今後も健全な財政運営をされることを期待する。

反対討論

辻 忠男議員

膨大な財政調整基金を残しながら、町民の願いや防災に対しての実現があまり
にも少ない。
①循環バスを大字すべてに運行することや、運行時間の拡大等の町民の要望を受
けとめた予算計上が必要。
②給食センターに放射能測定器を設置し、安全で安心した食料提供をすべき。
③5連動とも言われている地震対策として、これから建設する新保育所の窓ガラ
スに飛散防止対策が必要。

賛成討論

沢田 栄治議員

防災・減災対策など数々の施策を盛り込み、災害対策費を前年の2倍以上とし
たことは大変評価をする。町民の負担軽減を図るため、子ども医療費の中学生ま
での無料化、高齢者のタクシー料金助成事業の継続、国保税の負担緩和、新保育
所の建設や新庁舎建設に向けた事業、循環バスの試行運行事業及び小中学校の空
調整備など、バランスのとれた予算編成である。

反対討論

杉野 明議員

町民税の年少控除・特定年少控除を廃止し、7100万円の増税を見込む一
方、多額の財政調整基金を残している。耐震住宅改修補助の拡大や、住宅リフォ
ーム助成制度など、今住民が必要としていることに予算を充てるべき。
また、負担金640万を要する県職員派遣の必要性は疑問。町職員の資質向上
を図るべき。

賛成討論

山本 和俊議員

機構改革により「子育て支援課」を設け、保育園と幼稚園を同じ部署で管理し、延長保育や障害児保育も充実させるなど、育児や子育てに一層力を入れたものとなっている。
災害用備蓄品及び発電機など非常用備品を充実させ、さらには防災対策専任として県派遣職員を配置するなど、災害対策においては、一歩進んだ施策である。
従来の枠組みにとらわれることなく、「安全、安心、安定のまちづくり」に取り組んだ前向きな予算編成である。

賛成討論

三留 享議員

賛成の立場であるが、以下の点について改善を求める。
文教厚生関係では一部に積算根拠が不明確、コストの検証が不十分、現場の実体に基づかず書類のみで仕事が行われていると懸念されるものがある。総務建設関係では、循環バス運行について、税の公平な分配、正確なニーズ把握のためにも、相応の受益者負担を求める。防災ラジオの購入補助（1台当たり9240円）は過大である。火災報知器同様商品の紹介にとどめるべき。

可決

平成24年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算

反対討論

辻 忠男議員

後期高齢者医療は、5.86%という大幅値上げである。2012年度からは所得割7.85%から8.55%に、均等割4万1844円から4万3510円にそれぞれ値上げとなる。町民からは「これ以上の値上げは限界だ」との声が上がっている。

広域連合の安全化基金の残高24億円を取り崩して保険料を抑制すべきである。

可決

平成24年度阿久比町水道事業会計予算

賛成討論

久保 秋男議員

地震等災害時における飲料水の確保は、町民の生活を守るうえで極めて重要なことであり、飲料水の確保、給水活動の拠点施設となる上水道第3供給点は1日も早く整備、完成させなければならない。町東部地区では、宮津特定土地区画整理や陽なたの丘において、着々と住宅建設が進み、供給体制の強化が求められている。このような状況にある中、町当局は上水道第3供給点建設事業を計画的に進めており、その姿勢を高く評価する。

同意

固定資産評価審査委員会委員の選任

にい み まさ ひこ
新 美 正 彦 氏（宮津）

平成24年4月1日より就任（再任）



同意

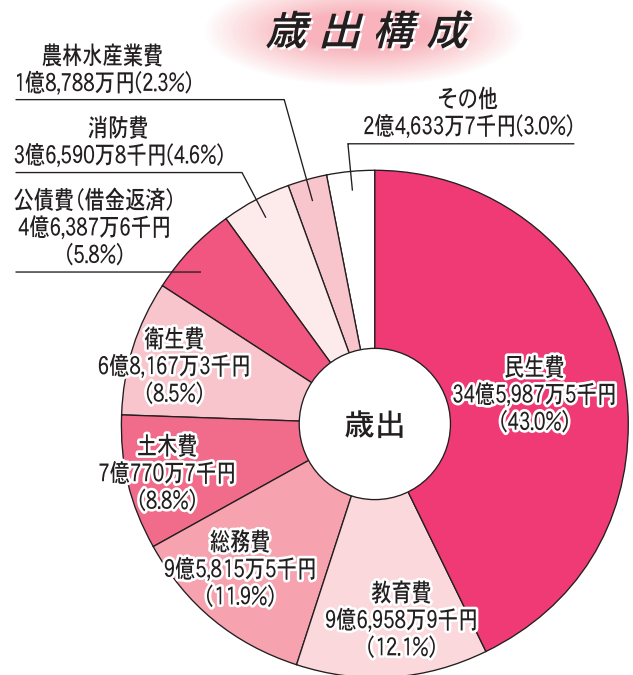
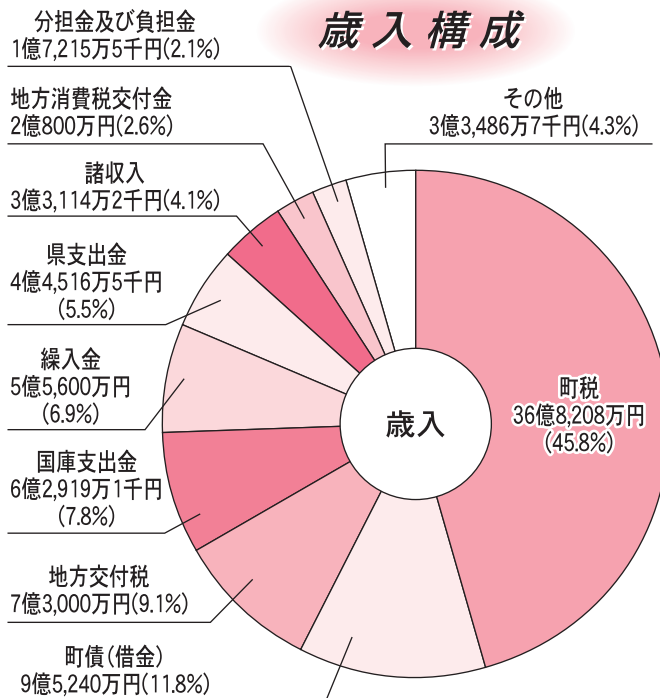
固定資産評価審査委員会委員の選任

い と う あきら
伊 藤 彰 氏（卯坂）

平成24年4月1日より就任（新任）



平成24年度 一般会計予算 予算額80億4,100万円



会計別予算総括表

区 分		予 算 額	増 減 率
一 般 会 計		80億4,100万円	5.0%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	25億2,096万2千円	7.2%
	土 地 取 得	16万7千円	△43.6%
	下 水 道 事 業	6億3,900万円	△6.6%
	介 護 保 険	14億3,454万3千円	△3.9%
	後 期 高 齢 者 医 療	2億5,452万8千円	9.3%
	小 計	48億4,920万円	1.8%
水道事業会計(支出ベース)		7億5,959万9千円	△1.6%
合 計		136億4,979万9千円	3.5%

意見書

町民の声を内閣総理大臣などに提出

不採択 「社会保障と税の一体改革」の中止を求める意見書 提出者 杉野 明 議員

賛成討論 辻 忠男 議員

いま政府が進めようとしている「社会保障と税の一体改革」は、消費税を10%に大幅に増税し、それを財源に社会保障費に充てるとしている。

震災と原発事故という未曾有の災害を乗り越えるために国民全体が力を合わせなければならない時に、財源は低所得者ほど負担の重い消費税ではなく、経済的能力に応じた税と社会保険料の負担（応能負担）によって捻出すべきである。

陳 情

商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充

- ①商工会事業運営に対する財政的支援の推進・拡充
- ②中小企業の経営支援の強化
- ③官公需発注における商工会員を優先した事業機会の確保
- ④地域全体の商業者による地域貢献を推進するための条例制定
- ⑤商工会組織存続に対する配慮



議案等

◎全員賛成可決

○賛成多数可決

×否 決

議案

- ◎阿久比町資源ごみ等持ち去り防止に関する条例の制定
- ◎阿久比町公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町税条例の一部改正
- ◎阿久比町立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町精神障害者医療費支給条例の一部改正
- ◎阿久比町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
- ◎阿久比町介護保険条例の一部改正
- ◎阿久比町立老人憩の家の管理に係る指定管理者の指定
- ◎土地区画整理事業に伴う字の区域の設定
- ◎愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更
- ◎阿久比町道路線の認定
- ◎平成23年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎平成23年度阿久比町下水道事業特別会計補正予算

議案

- ◎平成23年度阿久比町一般会計補正予算
- ◎道路橋梁費繰越明許費補正
- ◎道路補修事業 470万円
- ◎道路改良事業 377万6千円

第1回臨時会(平成24年3月26日)

同意案

- ◎平成23年度阿久比町介護保険特別会計補正予算
- ◎平成23年度阿久比町水道事業会計補正予算
- ◎平成24年度阿久比町一般会計予算
- ◎平成24年度阿久比町国民健康保険特別会計予算
- ◎平成24年度阿久比町土地取得特別会計予算
- ◎平成24年度阿久比町下水道事業特別会計予算
- ◎平成24年度阿久比町介護保険特別会計予算
- ◎平成24年度阿久比町後期高齢者医療特別会計予算
- ◎平成24年度阿久比町水道事業会計予算

視察研修報告

議会基本条例を学ぶ 議会運営委員会



全国町村議会議長会事務局



二宮町議会

平成24年1月30日、全国町村議会議長会事務局(東京)で議会基本条例について研修

平成18年5月に北海道栗山町議会が制定以後、多くの地方議会が取り組んでいる。大きな問題点として、反問権をどのように与えるか。議会報告会の開催について。本会議場での議員間の討議の設定等クリアすべき課題も多い。

平成24年1月31日、神奈川県二宮町議会の議会基本条例制定に向けての取り組み状況について研修

平成23年3月に議会基本条例制定委員会設置、平成24年1月まで11回の委員会を開催。平成24年3月定例会より、試行として反問権を理事者側に認める一般質問を行う予定。平成24年度中の制定を目指している。

(久保 秋男 議員)

総務建設

災害に備える予算を強化

当委員会に付託された12議案を審議した。

平成23年度一般会計補正予算では、財政調整基金現在高が23年度末で19億円程となる。他の事業に置換え柔軟に有効活用すべき等の意見があった。

平成24年度一般会計予算では、建設関係にも力を入れバランスのある予算配分を願う、財調からの繰入額を増やし木造住宅耐震改修を奨励する施策を行うべき、防災減災対策に例年の2倍の予算は評価できる、などの意見があった。

平成24年度水道事業会計予算では、知多半島では下から2番目に有収率が悪い、平均95%以上になるよう目標を定め取り組むべき等の意見があった。

表決の結果は全員賛成8件、賛成多数4件。全ての議案が可と決した。

(竹内 一美 議員)



災害対策として500台の防災ラジオを購入予定

文教厚生

資源ごみ等持ち去り防止

当委員会に付託された12議案を審議した。

議案の主なものは、平成24年度阿久比町一般会計予算、平成23年度一般会計補正予算、また阿久比町資源ごみ等持ち去り防止に関する条例の制定等である。

資源ごみ等持ち去り防止に関する条例の制定については、出したごみはどこの所有になるのか、過料の金額は妥当か等議論を行った。

議案を審議した結果、すべて原案のとおり可と決した。

(都築 重信 議員)



資源ごみ回収



渡辺 功 議員

精神障害者医療費を無料に

10月診療分から実施予定

問 精神障害者の保健福祉施策は、他の障害（身体、知的）と大きな格差がある。特に現在阿久比町に住む精神障害者の一般医療費は、3割負担であり、過酷と言わざるを得ない。

われわれ議員は、12月議会で、精神障害者家族会からの請願書を全員一致で採択した。

この議決は重く、無料化への早期実現が必要。

① 町内の精神障害者の状況ならびに行政等との関わりや連携は。

② 愛知県内の精神障害者医療費助成の現状は。

また知多5市5町の状況や動向は。

③ 昨年3月議会において、一般医療費を無料化した場合、約3000万円必要との答弁であったが、その根拠は。

④ 施設整備の現状と利用状況について。

また障害者が一人きりとなった場合の対応は。

⑤ 本町での医療費無料化の実現は。

答

① 2月1日現在201人である。地域活動支援センターに精神保健福祉士を配置し、精神に障害のある方や家族の全般的な相談をしている。阿久比町精神障害者家族会へ活動費の補助をしている。

② 54市町村中、通院助成が27市町村、入院助成が31市町村である。

③ 手帳所持者のみではなく、受給者すべてを対象として算出した。

④ 町内には、障害者自立支援法に基づく入所施設が民間事業所により5ヶ所開設されているが、現在のところ精神に障害のある方の利用はない。これまでも健康や将来に不安を抱える家族等から相談があるが、ホームヘルパーやケアホーム、グループホームの利用の他、財産管理については成年後見センターの紹介をしている。

⑤ 精神障害者保健福祉手帳1・2級所持者に対し入・通院の全疾病医療費助成を、10月診療分から実施を予定する。

新介護保険料と施設状況

月額4400円を予定

問 厚生労働省の推計では、平成24年度の40歳～64歳の第2号被保険者の介護保険料が、平均で月額4697円と過去最高。

65歳以上の第1号被保険者について質問。

① 24年度からの阿久比町の介護保険料は。

② 保険料は、今後3年間の給付見込み等から算出されるが、介護を必要とする人数や人口の伸び等をどう予測したか。

③ 今回介護内容や制度面で見直されたものはあるのか。また策定委員会では、どのような意見や要望が出されたのか。

④ 保険料の軽減など、低額に抑える措置は。

⑤ 町内の介護施設とその利用状況について。

⑥ 近隣市町の新保険料は。

答

① 月額4400円を予定する。

② 26年4月で、介護認定者は790人、人口は2万7922人、高齢者は6706人を見込んでいる。

③ 介護報酬改定、地域区分の見直し、負担割合の変更などである。

④ 第三段階の細分化、介護給付費準備基金取崩、県財政安定化基金取崩などである。

⑤ 一期一会荘は定員80名、メデイコ阿久比は定員214名で、いずれも満床である。

⑥ 下表

市 町 名	保険料(円)
半 田 市	4,980
知多北部広域連合	4,934
常 滑 市	4,800
武 豊 町	4,780
美 浜 町	4,500
南 知 多 町	4,400
阿 久 比 町	4,400

24.2.28 現在



阿久比町

災害への備えは より実効性のある防災訓練



新美 秀夫 議員

問

大災害に備え自助・公助・共助の精神を養い町民と行政が一体となって、災害に備えることが必要である。

①防災ラジオを町が割安で販売する考えがあるか。

②標高入防災マップを配布する時期は。

③本年も町民参加の防災訓練を行うか。

④防災無線をデジタル化する計画があるか。

答

①平成24年度に、防災ラジオを導入し、安価で販売したい。

②3月1日から全戸配布している。

③昨年の防災訓練の反省点を踏まえ、より実効性のある防災訓練を行いたい。

④現在アナログで対応しているが、使用に問題はないので当面デジタル化は考えていない。



防災ラジオ

同報無線

携帯メール

答 ①設計業務約1億3000万円、建築工約24億5000万円、備品の移設・購入等約4億2000万円。
②学識経験者4名、住民代表1名、副町長の6名で構成。一回あたり延べ4万6600円。
③第一次審査は書類で審査し、第二次審査は基本コンセプトや配置計画案の考え方、技術テーマに対する提案について、プレゼンテーションとヒアリングを実施する。
④開催場所の変更など、主催者と担当課で調整する。
⑤今後検討する。

新庁舎建設の設計は

設計者の二次審査は

プレゼンテーションとヒアリングを実施

問

新庁舎は町民が安心して利用しやすい庁舎であるべき。それは、町民・行政・設計者・建設企業が一体となる取組みが必要。

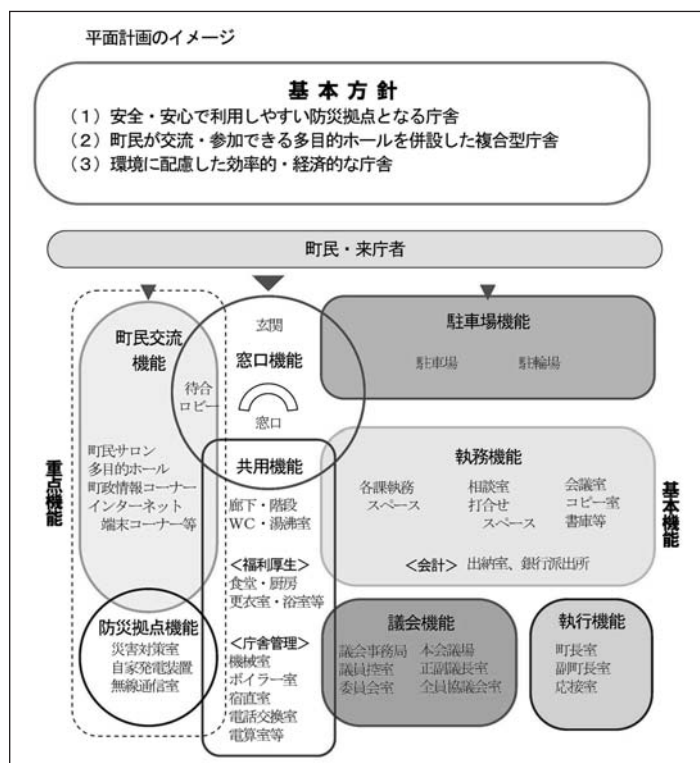
①事業の基となる概算建設資金の内訳は。

②設計者選定審査員の選定の基準は。審査費用は。

③設計者選定の一次・二次審査の基準は。

④建設中に従行した行事はどうするか。

⑤町営プールを取壊した後、新しく建設するか。



建設平面イメージ



久保 秋男 議員

新年度予算編成は

第5次総合計画の施策の推進と実現

問

社会経済も大変厳しい状況であり、本町の財政状況も厳しいことには例外ではないが、本町の発展を支える新年度予算編成について伺う。

① 新年度予算編成の基本的な考え方は。

② 主な行政課題は。

③ 町税の推移は。

④ 財源確保の取り組みと対策は。

⑤ 社会保障関係費は、今後増大の傾向のなか財政健全化の取り組みは。

答

① 第5次総合計

画の施策の推進と実現に努める。

② 子育て支援と防災対策に重点を置いた。

③ 平成20年度より減額となっている。

④ 国県の財政も厳しいが補助金等最大限見込んだ。

⑤ 税収の徴収率アップなど自主財源の確保に努めるとともに行政評価により事務事業の見直しを進める。



新保育所外観イメージ図

町制60周年事業は

検討委員会設置を

問

景気の先行きが不透明なことから社会経済情勢も大変厳しく、基本的には町財政も厳しい状況の中、来年は町制60周年を迎える。

本町の活性化に絶好の機会と考える。町として町民の思いにどのように応えていくのか。

① 町制60周年の取り組みは。

② 周年記念事業の考えは。

③ 官民協働事業の考えは。

④ 町民の意見をどのように反映していくのか。

⑤ 概算予算は。

答

① 住民、地域、行政が丸となって取り組みたい。

② 住民の皆さんと共に記念事業を展開する。

③ 各種団体等が実施するイベントを記念協賛事業とすることも考えられる。

④ 町制施行60周年記念事業検討委員会（仮称）で検討したい。

⑤ 事業内容はこれから検討するので現在は未定。

水道水を元の本曾川に 知多浄水場は長良川を水源とする施設



辻 忠男 議員

問

① 飲み水だけ本曾川から長良川河口堰になったのはなぜか。

② 汚水・生活雑廃水・工業用廃水でも第三次処理すれば飲めるがそれでいいのか。

③ 法の基準内でも環境ホルモンは残留する。人の生殖機能を衰退させる物質であるが、子・孫の代まで大丈夫か。

④ 知多の異常渇水時、長良川も渇水し、岐阜市と周辺の排水だけになったがどうか。

⑤ 大地震時の導水管破裂対策は。

答

① 知多浄水場は、長良川を水源とする計画で建設された施設であり、河口堰の完成により長良川からの取水が開始された。

② 三次処理水は、河川等への放流を前提とした水質のため飲用には適していない。

③ 長良川や本曾川等でエストラゲンが検出されているが、測定値は低い。

④ 渇水の影響で河川の水量は少なくなったが、水質は環境基準内に収まっていた。

⑤ 町内の水道管が破損した場合は、給水車による応急給水を行うとともに、破損箇所の調査と修理を進める。

循環バスの現状と今後

利用状況を見極め方針を

① 5か月間の試行運行での改善と本運行に向けての町長の決意は。

② バスが来ない地域への延長は。

③ 狭あい道路にも運行すべきでは。

④ 一時間に一本のダイヤを組めば、利用しやすくなるのでは。

⑤ 朝七時台から運行すべきでは。

⑥ バスを四台にしては。

⑦ 狭あい道路を運行できるように関係機関と交渉しては。

⑧ 本運行は、利用状況を見極め方針を決める。

答

① できることから速やかに行い、23件の改善を行った。

② 平成24年秋のダイヤ改正に向け、方針を具体化する。

③ 交通安全上問題のないルートを選定する。

④ ⑤ ⑥ 利用者アンケートでも多くの要望がある。

⑦ 試行運行期間中の利用状況を見極め、方針を判断する。

⑧ 町も運行事業者も循環バスの安全な走行が優先されるべきと考えている。

わが町の防災

自主防災会を中心に

問

① 大地震発生時の家屋の倒壊予想数は。② 想定されるがけ崩れの地域と家屋数は。

③ 災害発生時に逃げるルートの確保は。

④ 狭あい道路の拡幅計画は。

⑤ 加木屋成岩断層等のデータは。

⑥ 高齢者や障害者等をよく把握し、地域と行政が協力しあつての災害発生時の救援活動は。

答

① 全壊件数は300棟、半壊件数は1100棟と想定している。

② 急傾斜地崩壊危険箇所は48か所、対象人家は471戸ある。

③ 昨年行った全地区一斉避難訓練で自主防災会が中心となつて避難経路、所要時間の確認を行った。

④ 今後も自主防災会を中心に危険な場所等の検討を行う。

⑤ 狭あい道路拡幅整備事業などで地権者の理解が得られた路線から整備を進める。

⑥ 東海市名和町から加木屋町・阿久比町・半田市成岩に至る長さ30kmの連続する東落ちの新しい活断層を伴う撓曲構造である。上下変位の平均変位速度は0・12m/千年と考えられ、活動間隔は2万年以上と推定される。

⑦ 災害時要援護者の避難は、自助・共助を基本とし、平常時から要援護者に関する情報を収集し、管理・共有して避難支援をする。

⑧ 災害時要援護者の避難は、自助・共助を基本とし、平常時から要援護者に関する情報を収集し、管理・共有して避難支援をする。

⑨ 災害時要援護者の避難は、自助・共助を基本とし、平常時から要援護者に関する情報を収集し、管理・共有して避難支援をする。



杉野 明 議員

社会保障と税の一体改革

行政の無駄を徹底的に省く

問

97年の消費税増税以来、国民総生産・雇用者所得・

一般会計税収ともに大きく落ち込み暮らしは大変になっている。社会保障のためという口実で消費税増税や年金力ツト等を行う「社会保障と税の一体改革」は、日本経済の前途を閉ざす暴挙である。

今後、町財政にも大きな影響を及ぼすと懸念されるこの「改革」を、町長はどう考えているか。

答

日本の高齢化社会は世界で群を抜いている。また、少子化対策、医療介護、年金、就労促進、格差対策など国が抱える課題は山積している。

一方財政では、普通国債残高は680兆円とも言われ、かなり深刻な状況にある。このような状況で、一体改革に反対するものではないが、国民に負担をかける以上、行政の無駄を徹底的に省き、まず我が身を削ることが重要ではないか、というのが私の考え。

自然エネルギーの活用を

町が行う事業としては今後研究する

問

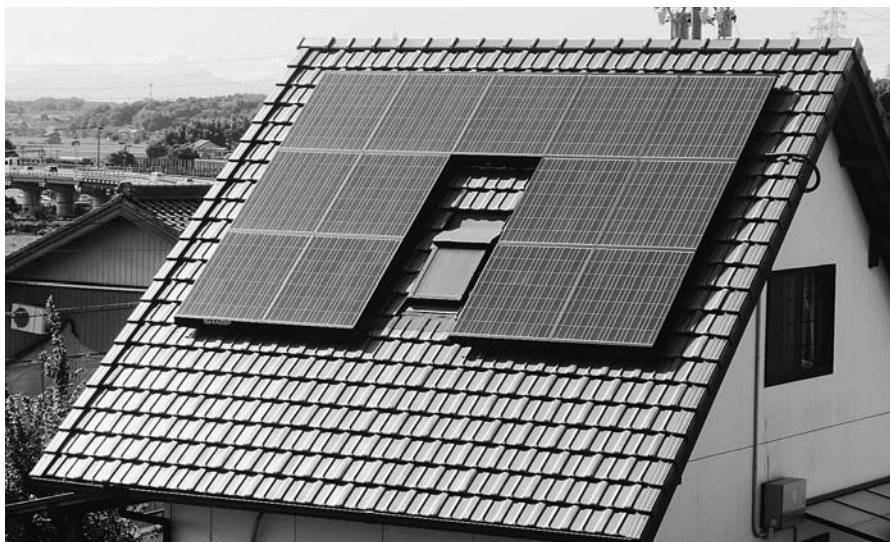
福島第一原発事故以降「原発に頼らない再生可能エネルギーへの転換」を求める世論の高まりは世界的な流れとなっている。多くの自治体が再生可能エネルギーの活用に取り組んでおり、52の自治体が日常生活や農林水産業で必要なエネルギーを100%地元産の自然エネルギーで賄っている。

阿久比町でもすぐにとりかかる考えはないか。

答

自然エネルギーを利用した発電方式を一般家庭に導入するには、立地条件等の課題も多く、当面住宅用太陽光発電を主体とした普及を考えている。

また、町が事業主体として自然エネルギーを活用することとは、地形・気候・立地条件や財政面、あるいは、国・民間会社・NPO等の動向を見ながら、今後研究したい。



太陽光発電

農業施策は

新規就農者確保と六次産業化の推進



都築 重信 議員

問

これからの農業施策の方向性は、
①推進する施策は。

②農業者の高齢化が進んでいる中、新規就農者を積極的に迎え入れ、農業の活性化を。

③六次産業化（生産・加工・販売）の推進は。

答

①特産物創造推進事業の活用により、農家と消費者の対話や農家との検討会を進め、新しい特産物を育てたい。

②国による新規就農者確保のための青年就農給付金制度、農地利用円滑化事業による農地確保など、新しい施策の利用ができるように対応する。

③農業の六次産業化は、今後の農業政策として重要と考える。このため、計画されている土地改良事業の計画づくりの中で、集落営農や農業生産法人などの組織づくりと合わせて検討する。



田舎寿しづくり



草木農産物直売所

農免道路の安全対策を

急カーブありの看板を設置



農免道路草木元倉地点

問

阿久比町2級路線108号は事故が多い。
事故防止の観点から伺う。

①危険な地点は何か所か。

②草木元倉の地点で、この数年で何件の人身事故、物損事故が発生したか。

③事故が多いのはなぜか。

④安全対策は。

答

①町道108号線は、道路に起伏のある箇所や急なカーブがあり、見通しのよくない箇所がある。

②平成20年～平成23年までの累計で12件の人身事故が発生している。

③この付近は、急なカーブと、道路勾配から対向車の確認ができてにくいことが考えられる。

④今年は、路面に薄層カラー舗装をした。今後は、「急カーブあり」の看板を設置していく。

デンソー南東の

新設道路は

3年かけて完成

問

デンソー南東で計画
中の新設道路について
伺う。

①進捗状況は。

②歩道の設置等、安全対策は。

③交通渋滞の解消になるのか。

答

①平成21年度～23年度にかけ、用地買収を実施した。今後、平成24年度から3ケ年をかけ、道路新設工事を行っていく。

②接続する町道108号線も片側歩道のために、片側歩道を計画している。また、町道4258号線との安全対策は、県公安委員会と十分協議する。

③町道3196号線の完成は、町道108号線と交差する町道4258号線付近の交通事故防止につながるものと考えられる。



沢田 栄治 議員

中学校武道必修化の取り組みは 指導方法や安全への配慮

問

①平成24年度からの武道必修化への取り組みの意義は何か。

②必修科目に柔道を選択した目的は。

③良識のある指導者の確保と指導内容はどのようになっているのか。

④事故やけがの安全面への対策はどのように考えているのか。

答

①作法を学び、相手を尊重し、礼に代表される伝統的な行動の仕方を守る心情や態度を育む。

②10年以上の実践の中で培ってきた指導方法や安全への配慮事項を生かしている。

③研修会を受講し指導内容や安全への配慮事項を全員で確認して指導している。

④安全確保のため、活動場所を十分とり、「引き手」を徹底させ、研修の情報や参加を呼びかけていく。

小中学校に空調設置を

中学校に29基設置



エアコンが設置される中学校

問

①各学校に空調を設置する予定は。

②いつ、どこに、何基計画か。

③設置された場合維持管理費は。

答

①知多地域では最初で、県下でも最も早い市町村の一つとなる。すべての普通教室にエアコンを設置し、健康に配慮した快適な学習環境を整備する。

②平成23年度の国の当初予算追加財源分で「学校施設環境改善交付金」が認められたため、阿久比中学校に29基を6月から11月までの間で設置する。

③電気料として、概算で年間約149万5千円を見込んでいる。

駅前の整備計画は

植大駅前に駐輪場整備

問

①駅前の安全性等の確保のため、駐輪場への防犯カメラの整備は。

②計画の内容と実施の時期は。

答

①②交通安全上駐輪場の整備は必要であると考えており、平成24年度に、植大駅前駐輪場整備を行う。また、駅周辺における犯罪発生状況は自転車盗難が多いので、防犯体制の強化として、防犯カメラの設置を進める。

実施の時期は名鉄との協議ができ次第早期に行う。



駐輪場が整備される植大駅

新年度予算の骨子

新保育園予算に6億2512万円



鈴木 一夫 議員

問

新年度予算について以下11点を伺う。

- ① 国県の支出金の状況は。
- ② 予算の目玉は。
- ③ 歳入増として見込めるものは。
- ④ 循環バス事業の予算は。
- ⑤ 新保育所予算は。
- ⑥ 新庁舎建設に向け今年度予算は。
- ⑦ 敬老祝金予算は。
- ⑧ 高齢者タクシー助成予算は。
- ⑨ 子育て支援に関する事業内容と予算は。
- ⑩ 子供医療費の内容と予算は。
- ⑪ 後期高齢者福祉医療の内容と予算は。

答

- ① 国県支出金合わせて、10億7400万円。
- ② 新保育所建設、災害対策、花かつみ園整備等を行う。
- ③ 見込める収入は最大限計上した。
- ④ 2354万円。
- ⑤ 6億2512万円。
- ⑥ 213万円。
- ⑦ 322万円。
- ⑧ 1713万円。
- ⑨ 新年度より子育て支援課で実施する。全体予算は19億7728万円。
- ⑩ 中学生までの通院、入院分を助成する。予算は1億4819万円。
- ⑪ 75歳以上の高齢者から保険料を徴収し、広域連合へ負担金として支払う。予算は2億5452万円。



新保育所の建設予定地

下水道事業の現状と今後は

早期切り換えを促す

問

下水道事業の現状と今後の取り組みについて以下6点を伺う。

- ① 本町の下水道事業の経過と現状は。
- ② 公共下水道接続件数と接続率は。
- ③ 接続に対するPR方法は。
- ④ 排水施設が埋設された通路に近接した地域外流入対象者、希望者は現在どれくらいか。
- ⑤ 阿久比川水系の浄化、環境は改善されたか。
- ⑥ 今後考慮するとすればどのような点が。

答

- ① 平成22年度末に市街化区域の全域で下水道が利用できる状況となり、普及率は79・3％に達した。
- ② 平成23年度末で、接続件数は5528件、接続率は77・3％。
- ③ 供用開始から3年が経過する時点の文書送達や、町広報により供用開始等の周知を図ること、下水道への接続を促している。
- ④ 本町の区域外流入は、市街化調整区域の全域を対象にする。希望者数は把握していない。
- ⑤ 阿久比川の水質は、下水道の普及に伴って改善が進み、BODが2mg/lを下回った。
- ⑥ し尿のみを処理する単独浄化槽から下水道への早期切り換えを促す。



山本 和俊 議員

消防団の現状と課題

団員確保に努める

問

①平成21年第1回定例会で、「消防団の組織の充実」に関する質問がされている。その後どうなっているか。

②2月15日号の広報あぐいに、「消防団員募集」の記事が掲載されていたが、現在までの応募者数は。また、今年度の退団者の人数は。

③団員確保が困難であれば、消防団の存続のために、分団の統合の考えはあるか。

答

①消防団員の状況は、定数105名に対し現在85名で、充足率は81%である。消防力の向上のため引き続き団員確保に努める。また、機能別消防団員は、導入に至っていない。

②入団予定者は7名。退団予定者は6名。

③各行政区に、団員がいることで迅速な消火活動や消火訓練の指導等もできる。統合ではなく、各分団の充実が必要であると考え。



消防団観閲式

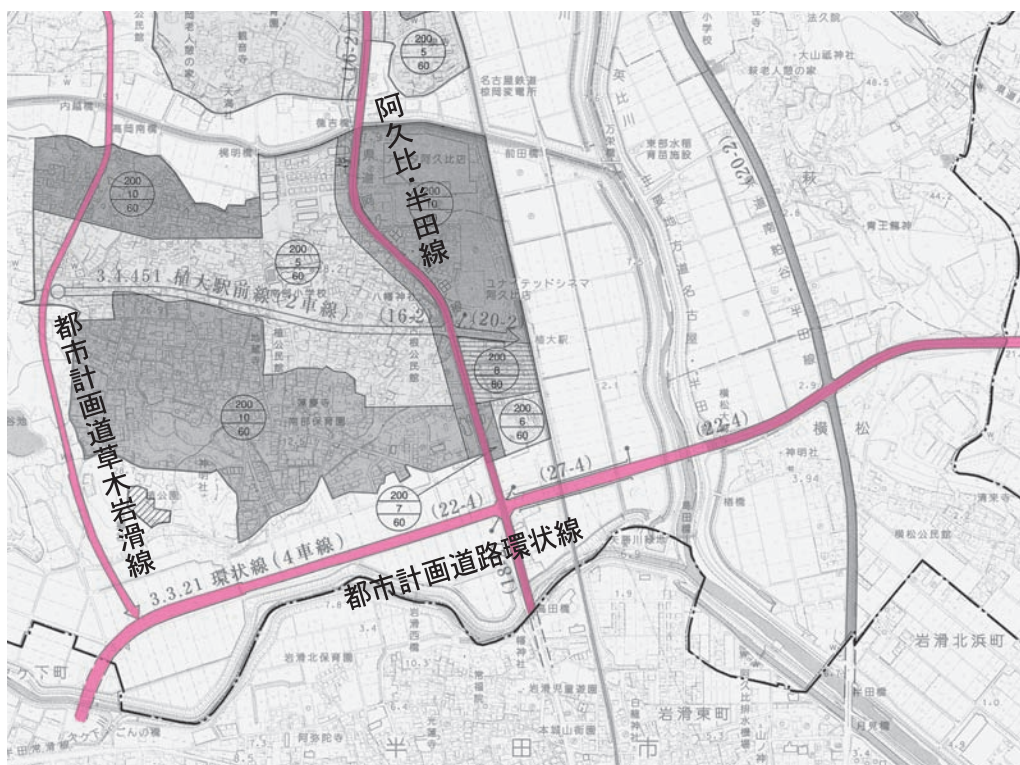


都市計画道路環状線

当初から平面交差の計画



澤田 道孝 議員



都市計画図（環状線・草木岩滑線）

答

都市計画道路環状線は、都市計画決定した当初から県道阿久比半田線との平面交差となっている。

問

都市計画道路環状線について、今後の見通しと立体交差又は平面交差どちらを考慮するのか。

草木岩滑線の今後は

委託業務を中止

答

都市計画道路草木岩滑線の見直し委託業務契約は、阿久比・矢高土地改良事業の確実性が担保できない状態となったため、道路予備設計等の委託業務を中止する変更契約をした。

問

都市計画道路草木岩滑線について、道路見直し委託料予算1020万円の設計変更についてどのような計画に基づく予算計上で補正予算の根拠は。



三留 亨 議員

第五期高齢者保健福祉計画

事業所整備を検討



用語解説

小規模多機能とは？

通いが中心、必要に応じて訪問や泊まりを組み合わせる介護サービス。

問

平成24年から3年間を対象とする第五期高齢者保健福祉計画のポイントは「地域包括ケアシステムの確立」である。日常生活圏の中で介護サービスの充実と医療との連携、多様な支援サービスの確保をうたっている。

答

利用者の需要を見ながら事業所整備を検討するとともに、現行の在宅介護を支える体制を確立していく。

地域に密着した在宅支援の向上や医療機関を始め、居宅介護事業所など、関係機関との連携を図っていく。高齢化に伴う後継者づくりが課題となることから、ボランティアに関する理解を深めボランティア活動の育成援助及び連絡調整を図っていく。

中学校武道教育

思いやりの心を育む

問

新学習指導要領により、中学校において武道教育が必修化される。生徒の体力向上とわが国の固有の文化を学ぶことは、一段と進む国際化のもとでは有意義なことと思う。が一方、危険性への懸念も指摘される。

答

相手の動きに応じた基本動作、伝統的な行動の仕方など、武道を通じて学ぶ内容のほか、接し方や思いやりの心、郷土を大切にすることを育むと考える。

これまでの実績のある柔道を選択する予定。

「武道教育の意義」「阿久比中学校で選択する武道科目」「設備・指導員等の条件整備状況」は。

男女共同参画プラン

広報活動に努める

問

男女共同参画社会の実現は、男女両性から成る社会として当然である。しかし、法律成立の経緯、当初の原理主義の横行（トイレの男女表示の禁止、学校での過激な性教育等）、底流にある夫婦別姓、外国人参政権、人権侵害救済法等の懸念もある。

答

男女差に起因する人権問題としては、DVやセクハラなどが考えられるが、実態となると個人情報に関わることであり、把握していない。

学校、幼・保育園では、思いやり、愛情と信頼感、男女の協力、家族愛、助け合いなどを目標とした教育が進められている。

また、社会全般に対して男女雇用機会均等法などの労働関連法の広報活動に努めていく。

本町における男女関係人権問題の実態、学校・幼保育園での教育内容、民間企業への規制は。



中学校での柔道の授業

その他の質問事項

- 阿久比町観光協会の推進状況について
- 東日本大震災の瓦礫処理への対応について

オカリーナ Agui



オカリーナ Agui 阿久比町文化祭芸能大会出演 2011.11.5



はじめまして、オカリナ同好会「オカリーナ Agui」です。

当会は、オカリナの音色に魅せられた人達が集まり、平成13年に「阿久比オカリナ同好会」としてスタートしました。

平成23年、発足10周年を迎えたのを機に会名も「オカリーナ Agui」と改め、更なる躍進を図るべく日々練習に励んでいます。

現在会員は25名。年齢構成は、30歳代から70歳代までと広範囲に渡っております。

活動状況は、メンバー全員による合奏が主体で、町の芸能まつり・文化祭に出演、また、近隣市町村が主催するコンサートや施設訪問によるボランティア演奏等にも積極的に参加しています。

講師の先生の的確な御指導と会員相互和気あいあいの雰囲気の中、発表会に向けて楽しく練習しています。

現状では全員元気で「まだ

まだ若い者には負けん？」と言う気構えを持った方ばかりで当面問題はありませんが、

当会もご他聞にもれず会員の高齢化が進み、10年・15年先を見据えた時、将来の会の存続が危惧されています。

これからの会の将来を背負って立てる人を育成していきたいと思っておりますので、高齢者でも「自称若者」と自負される方大歓迎。多くの「若者」の入会をお待ちしております。

なお、来る5月13日に開催される「阿久比町春の文協まつり・芸能大会」に出演しますので、ぜひご鑑賞下さい。

- 場 所** 阿久比町中央公民館
- 日** 毎週火曜日
- 時 間** 19時00分～21時00分 (2時間)
- 新規入会日** 平成24年6月度より
- お問合わせ先** (下記どちらか)

会長／中嶋好子 TEL.0566-22-1421
担当／石田精治 TEL.0569-48-2907

次回定例会

6月7日(木) (開催予定)
午前10:00～

皆さんの傍聴を
お待ちしております

問い合わせ先

☎ 48-1111
FAX 48-1711

議会事務局へ

議会だより編集特別委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
都築重信	竹内一美	久保秋男	沢田栄治	二井登喜男

予想される震災。被害を最小限にするために、一番必要なこと、それは「自助」。

まず、「家族防災会議」です。「いつかに備え、今やろう」。